

お茶のさる山 野口園

新茶葉加工機等を導入し、独自の加工工程を開発・構築することにより、新たな商品開発と品質向上・生産性向上・生産コスト削減を同時に実現し競争力強化を図る

取り組みの経緯

さし茶は、茨城の代表的ブランド茶のひとつである。同社は、茨城県で第2位の農地面積を持つ大型緑茶農園であるが、収穫時期の早いものから後期のものまで、優良な品種を多品種、長期間にわたって栽培する。自社で最終加工まで行っているため、良いものを安価で提供している。

同社の中心となるのは「深蒸し茶」の生産と販売で、一番茶は自社販売とヨークベニマル等のスーパーマーケットでの販売、二番茶以降を静岡県の間屋に卸している。

近年、日本茶離れが叫ばれており、消費量の減少が問題となっている。これに対応するため、さらに消費を促すことのできるより良い「味・色・香り」を持つ日本茶商品の開発は急務である。同社の製品は、「お茶の手もみ技術競技会」で日本一に輝いている製造者が品質を見極めており、評価の高いものであるが、旧来の設備では、需要に応えきれないのが現状だった。品質の向上と生産コスト削減、ニーズ対応実現のため、県内でも導入事例のない加工生産設備を加えた新たな生産ラインを構築し、高品質な製品の製造と、生産性向上を目指した。



堆肥作り、土作りからこだわり品質の良い茶を育てている

事業の具体的内容及び効果

同社では、新たな茶葉加工ライン構築のため、「茶葉軟化機（グリーンアップ）」「CCDカメラ方式選別機」「茶葉専用画像処理異物除去装置」の3機を導入した。

茶の加工は、自家茶園で詰んだ新鮮な茶葉を蒸し、次いで粗揉機に移して粗揉みし、揉捻、中揉処理等の処理を加えて、荒茶にする。最初の粗揉処理が緑茶加工の主要部分であり、蒸し茶葉の揉み込みの度合いが、製品の品質に影響する。



茶葉軟化機（グリーンアップ）



CCDカメラ方式選別機

茶葉専用画像処理異物除去装置。新茶の時期、最高品質の緑茶を製造する際に使用している



お茶のさる山 野口園

〒306-0402 猿島郡境町猿山147
TEL.0280-87-0523 FAX.0280-87-5557
http://noguchi-en.net
従業員数：5名

県内第2位の農地面積を持つ緑茶農園。品質の良い茶を育て、茶葉本来のうま味を重視する。園主自らが全ての工程に携わり、研究を重ねることで、良質かつ安全な緑茶を提供する。

事業概要

商品差別化の実現・生産性向上という課題解決を図るため、新茶葉加工機等を導入し、独自の加工工程を開発・構築。茶の「色味・香り・味」を全面的に見直す商品開発から需要拡大を図る。品質向上・生産性向上・生産コスト削減を同時に実現し競争力強化を図る。

「グリーンアップ」は蒸し茶葉をやわらかくする装置。粗揉の前に使用することで、従来より多くの茶葉を揉機に入れられると同時に、より細く揉むことが可能になった。煎茶は細い方が高級茶とされ、また、水分を効果的に除くため酸化を防ぎ、水色も美しい緑色に仕上がる。二番茶以降の硬い茶葉にも使用できるため、高級品の増産にもつながった。

また、荒茶から「茎茶」「煎茶」といった製品に分類する工程に、「CCDカメラ方式選別機」を導入。従来の選別方法よりさらに精度の高い選別と、時間短縮が実現。ここに、葉緑素に反応してそれ以外の物質を除くことができる「茶葉専用画像処理異物除去装置」を加えることで、味に加えて食の安全・安心に応えることのできる、高品質な製品の製造が可能になった。

でそれらをブレンド、安定した味を作り出している。

グリーンアップの導入により、味・水色・香りの良い茶の生産性が向上、さらに2つの選別機で異物等の除去の精度が向上し、高品質な高級茶の生産力があがったことから、現在の顧客である卸先やスーパーマーケットの需要拡大、さらに、旅館やホテルなどの宿泊施設といった新たな販路開拓に期待が持てる。生産性拡大とコスト削減により、営業人員と製造人員の新規採用、また、高品質製品の生産増により、新たな味の茶の開発と、飲料メーカーの要望にも応えていきたい考えだ。



事業成果の活用・今後の取り組み

同園の日本茶は「茶葉本来の味を楽しむ」というコンセプトで作られている。茶葉を乾燥させる際に、焙煎を強くすれば香ばしさが得られるが、それに頼らず、茶本来の素材の甘さを引き出して味わうことを大切にしているという。また、その年の気候や作る畑により変化のある茶葉を、品質を見極めること

あえて焙煎を深くせず、お茶本来のうま味を追求した日本茶が人気



野口 公輝さん
野口園3代目

「茶の栽培から加工まですべてを自社で行ない『足跡の見える緑茶栽培』を合言葉に、茶葉本来のうまさが伝わる緑茶製造を行っています。古来の『手揉み』の方法も学びながら、より良い茶を育てることを第一に、選んでもらえる緑茶を提供していきます」